

## ネットいじめを許容しない 集団の雰囲気醸成するための授業の実施

～早期発見と抑止力を生み出すために～

# いじめの理解

## ○文部科学省いじめの防止等のための基本的な方針

平成25年10月11日 文部科学大臣決定

### 6 いじめの理解

加えて、いじめの加害・被害という二者関係だけでなく、学級や部活動等の所属集団の構造上の問題(例えば無秩序性や閉塞性),「観衆」としてはやし立てたり面白がったりする存在や,周辺で暗黙の了解を与えている「傍観者」の存在にも注意を払い,集団全体にいじめを許容しない雰囲気  
が形成されるようにすることが必要である。

## ○千葉県いじめ防止対策推進条例

### 第4条

・児童等は,他の児童等に対して行われるいじめを認識しながらこれを放置することがないように務めるものとする。



傍観者の存在と役割

# ネットいじめ問題の現状と課題

- 全国的にネットいじめによる自殺が発生し続けている
- 柏市では中1のいじめの認知件数が多い



- 深刻な事態になる前に予防・介入することが大切



- ネットいじめは可視性が低く、保護者や教師の早期発見は困難
  - ・ネットパトロール
  - ・いじめeメール相談
  - ・いじめアンケート等は実施しているが・・・



## 傍観者の視点に立った新たな手立てを

<柏市いじめ防止基本方改訂の基本理念>

子供がいじめを苦に自らその尊い命を絶つような事態は  
何としても防がなくてはならないという強い決意で取り組む。

# ・実施する授業について

～ネットいじめを許容しない集団の雰囲気醸成するために～

## ・アプリの導入について

# 新しい取組「傍観者の視点で考え、議論する授業」

- 柏市教育委員会と2大学との連携により開発

## 指導内容の検討

- 藤川大祐 氏（千葉大学 教育学部 教授）
  - ・傍観者の解決方略には、学級の雰囲気の影響(藤川ら 2016)
- 阿部 学 氏（敬愛大学 国際学部 講師）

## 教材の作成

- ビデオ(ドラマ)の制作（千葉大の科研費）

## 指導者育成

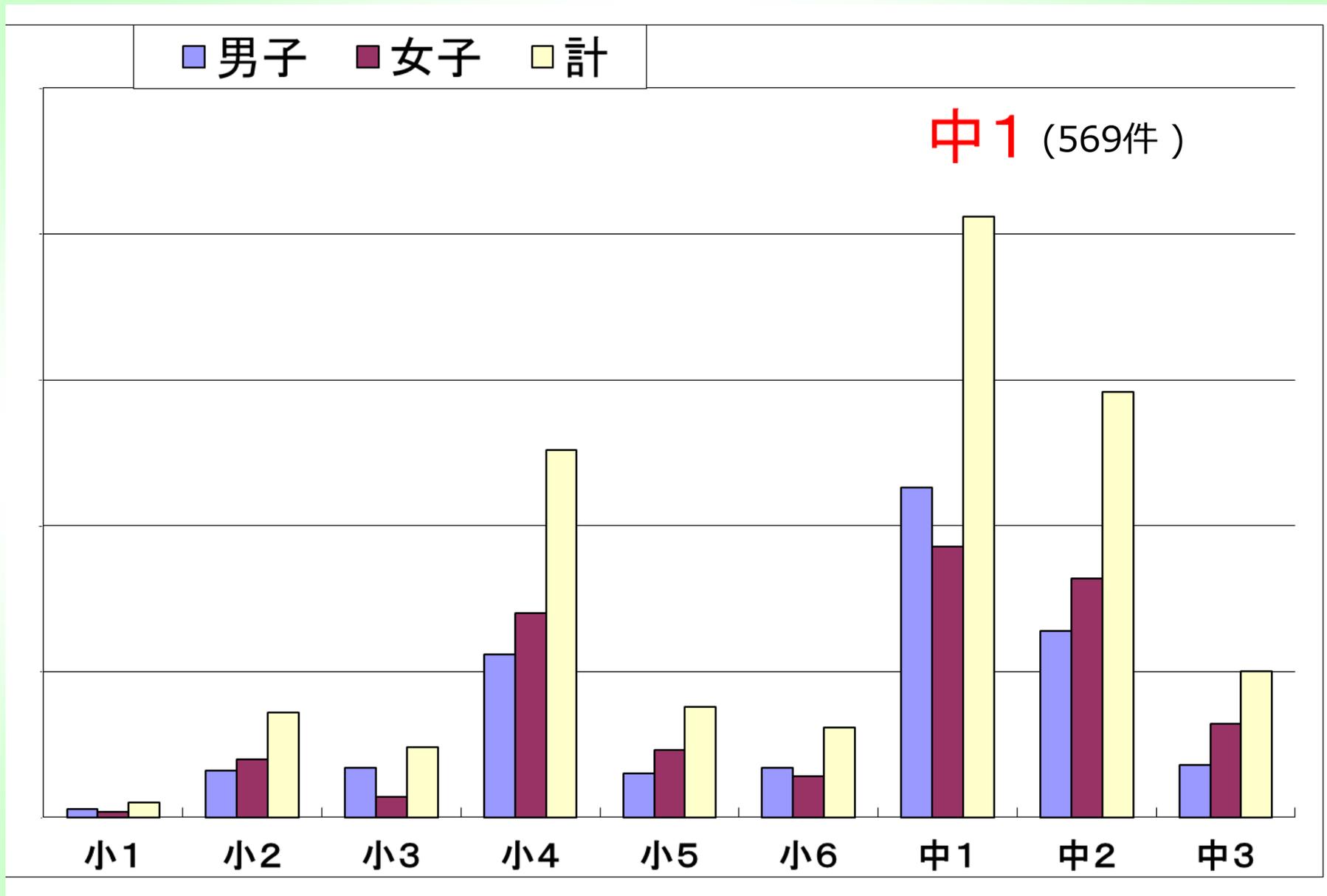
- NPO法人企業教育研究会より派遣



中学校の1年生で実施する

- ・認知件数が多い・
- ・学級の雰囲気が作られる時期

# 平成27年度学年別いじめの認知件数(柏市)



# 傍観者の視点で考え、議論する実証授業の様子



平成29年3月(柏市立柏第三中学校)

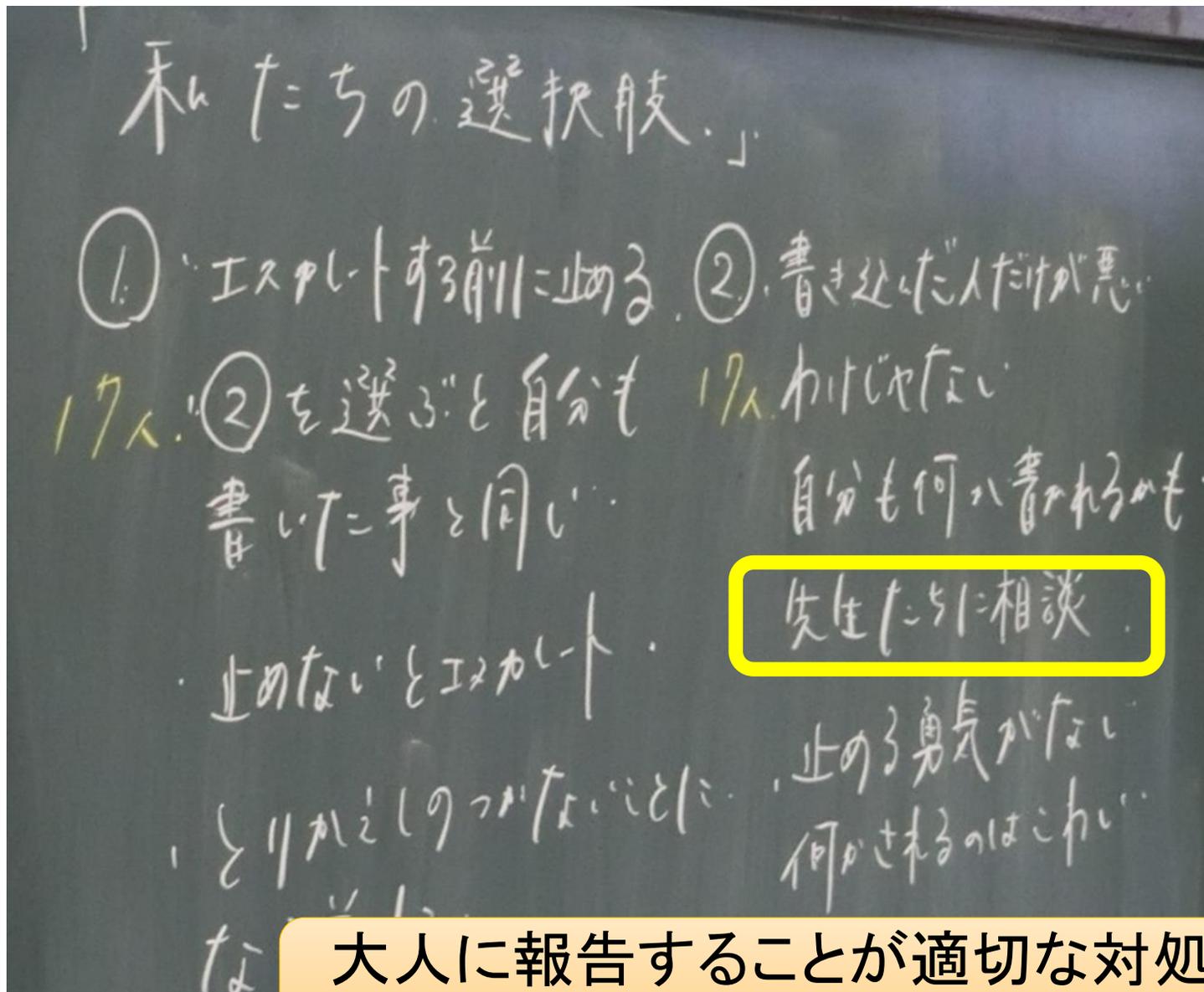
# 実証授業による生徒の感想(ワークシート)

ここまでの内容から感じたこと、考えたことは？

自分の意見を他の人に言うという事も大切なんだなと思いました、いじめをしている人だけでなく、いじめを見ている人の行動が一番大切と言っても過言ではないなと思いました。

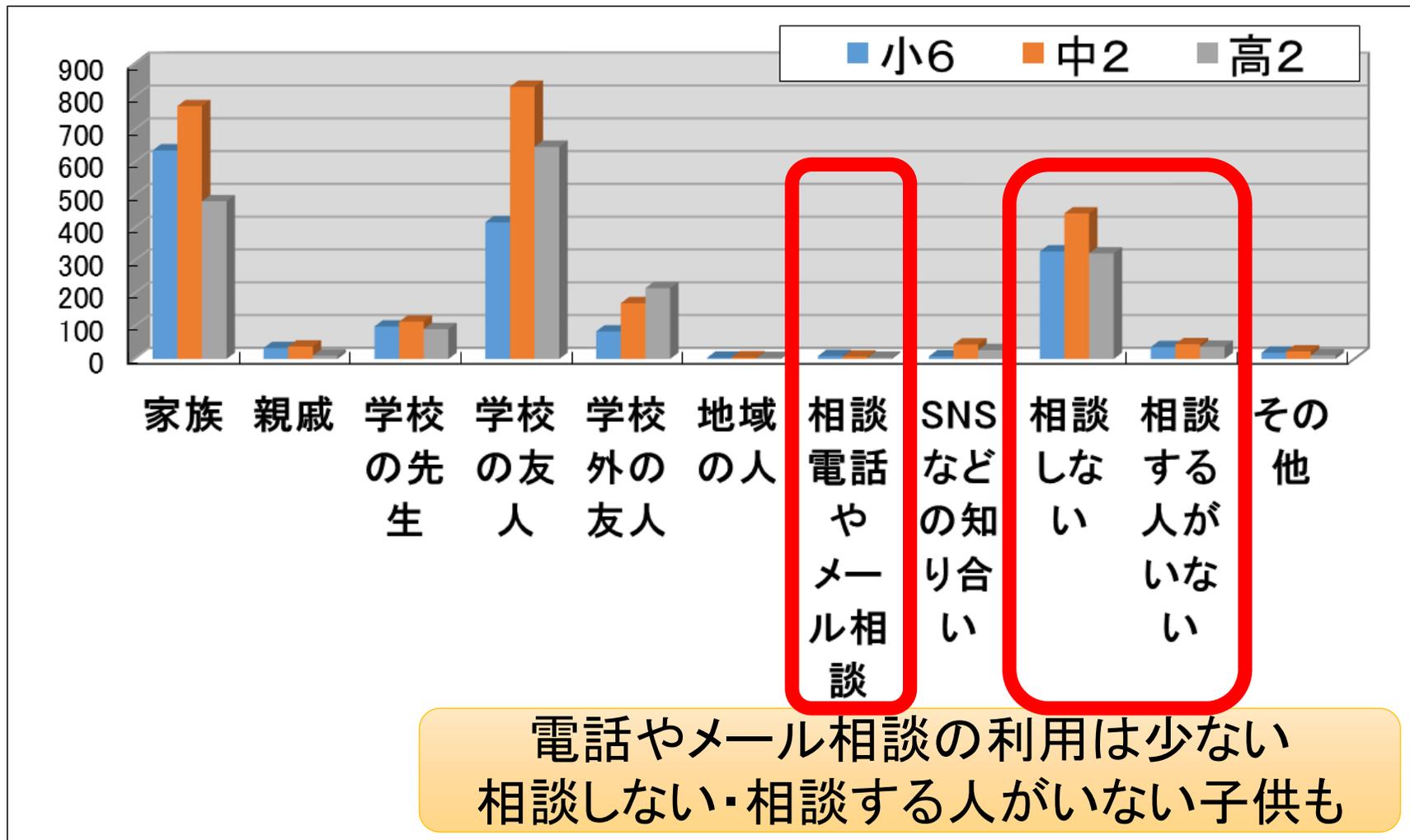
傍観者の役割の重要性に気づいた

# 実証授業による生徒の感想(発表)



大人に報告することが適切な対処の一つであることも確認できた

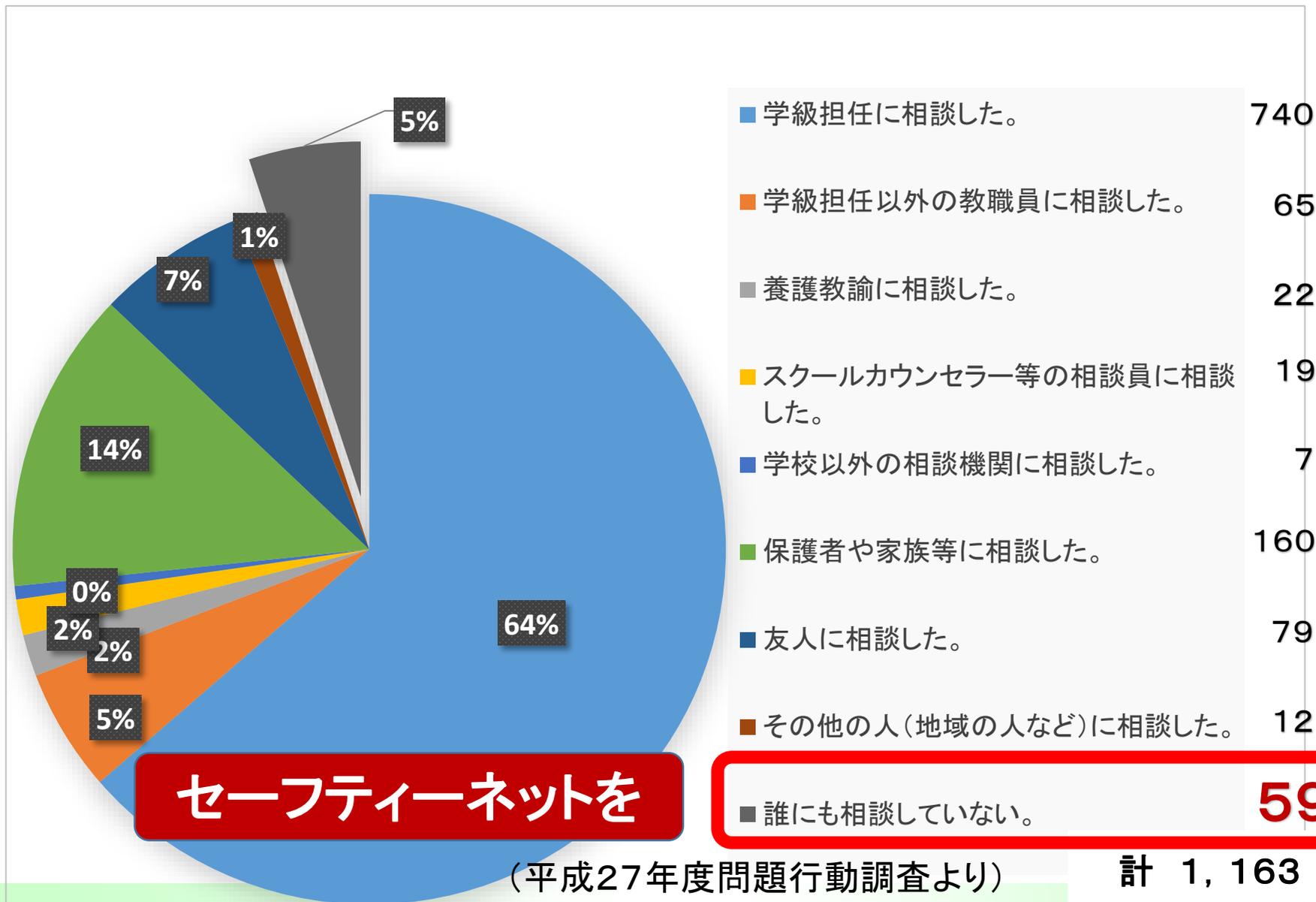
# 悩みごとを誰に相談するか



(H28. 柏市学校警察連絡協議会生活実態調査より)

\* 抽出 小学6年生:約1200名 中学2年生:約1700名 高校2年生:約1200名

# いじめられた生徒の相談状況(中学校)



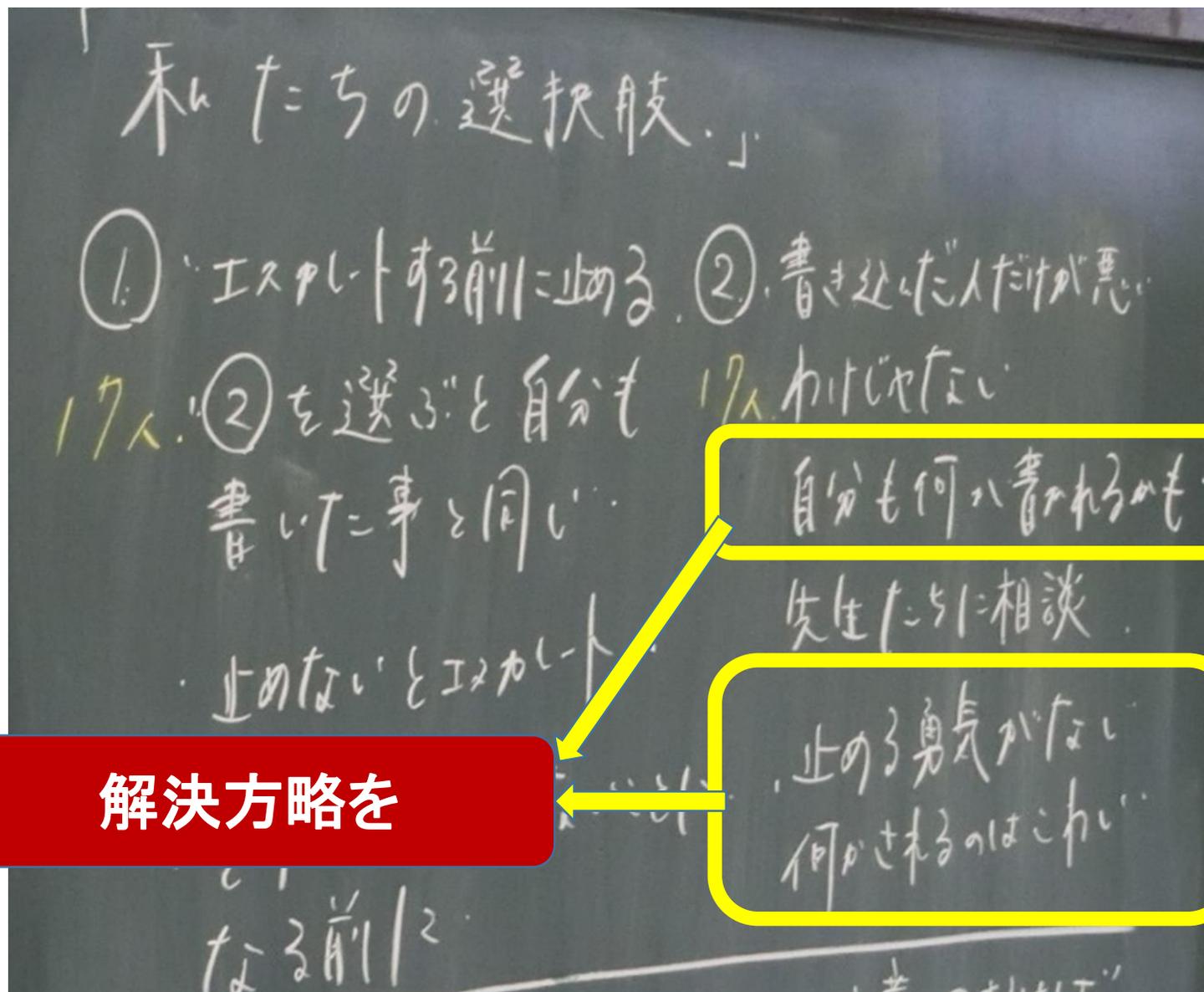
# 実証授業による生徒の感想(ワークシート)

ここまでの内容から感じたこと、考えたことは？

最初は選<sup>選</sup>択肢を②にしたけど、やっぱり①にした方がいいと思う。でも、本当にこういうことがあったら勇気がでないと思う。

正しいと思っても勇気がでない

# 実証授業による生徒の感想(発表)



**解決方略を**

# 授業＋報告，相談しやすいアプリの導入

相談できない子供に対して

・セーフティネットの1つ

傍観者に対して

・解決方略の1つ

## 「STOPit」の導入

(シンプルですばやく，匿名で報告・相談できるアプリ)

※ アメリカでは，約6000校，266万人が利用

※ アメリカ，日本，ニュージーランド，南アフリカ共和国，オーストラリア，  
カナダの6か国で展開

※ 世界を変えるための役立つアプリ5選(CNN)

※ 公立学校での導入は日本初(私立は3校導入済み)

# 報告, 相談しやすいアプリについて (STOPit)



NHK\_国際報道2017

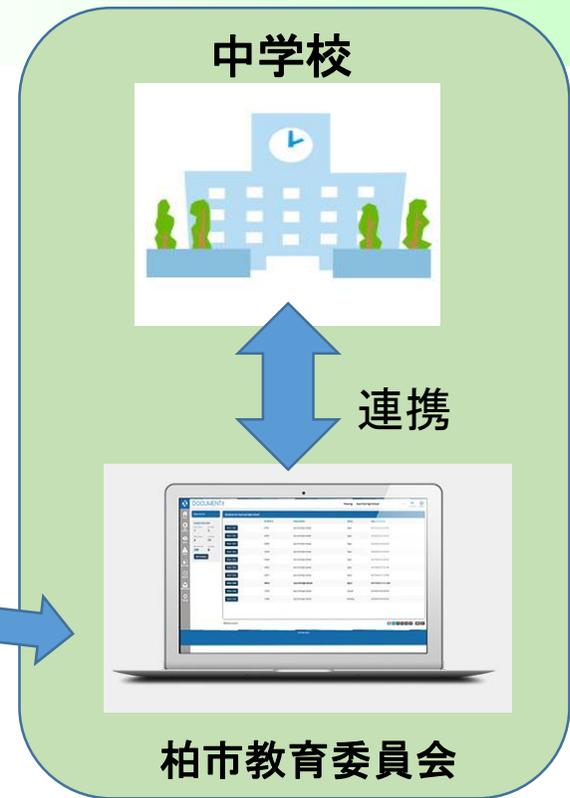


いじめを受けた・見た子ども

直接報告・相談  
・文字情報  
・画面キャプチャ  
・画像(写真)

重大・緊急時には  
直接専門機関へ  
電話接続  
(番号登録済み)

匿名



# 関係者との協議



- Todd Schobel 氏 (ストップイット創業者兼CEO)
- 谷山 大三郎 氏 (ストップイットジャパン株式会社代表取締役)

# 今後の予定

傍観者の視点でいじめを考え，議論する授業の実施

市内全中学校

第1学年 全クラス



相談・報告しやすいアプリの提供(STOPit)

市内全中学校 全生徒

◎いじめを許容しない雰囲気醸成

○早期発見    ○抑止力

予防・介入により深刻な事態を防ぐ

**ご指導よろしくお願ひいたします**